

歯学部長 前田健康

人事について

小林正治医歯学総合病院総括副院長の任期満了に伴い、その後任として多部田康一教授（歯周診断・再建学分野）が選任されました。任期は令和4年4月1日から3年間。また、あわせて副病

院長に井上誠教授（摂食嚥下リハビリテーション学分野）、病院長補佐に瀬尾憲司教授（歯科麻酔学分野）が選任されました。

令和3年度補正予算「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」の採択について

新潟大学歯学部は文部科学省が公募していた事業に申請していた「メニュー2A 実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備（歯）」（取組責任者：前田健康歯学部長）が「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業推進委員会」により選定されました。全国歯科大学・歯学部25件中選定された件数は16件でした（採択率64%）。

本学部では大学GP等による環境整備及び自験患者の確保による臨床実習の充実を進めてきました。近年のデジタル技術は歯科医療の変革、高度化をもたらしていますが、卒前でのデジタル教育

は遅れており、学生は知識の教育で卒業しています（いわゆる臨床教育のミッシングリンク）。臨床能力を担保された歯学生の輩出には、一貫した技能教育体系の構築が不可欠で、歯科医療の潮流となっているデジタル技術をもち、展開できる人材の養成を目的として、CAD/CAMシステムを用いて義歯作成が作成できるデジタル機器ならびに関連機器、さらには3Dプリンターやミリングマシンを導入しました（詳細については小野高裕教授が本号に寄稿）。これら設備一式はE棟1階のE108デンタルトレーナー室に設置されました。

2022年度科学研究費助成事業 採択結果について

2022年度科学研究費助成事業採択結果が発表されました。新潟大学での新規採択は263件で、採択率は32%（昨年度31%）でした。比較的大型の研究種目の採択状況は、歯学部では基盤研究Bが4件（全学で44件）、挑戦的研究（萌芽）が4件（全学で17件）でした。

なお、各種目の全学の新規採択率は下記の通り

です（昨年度採択率）。

基盤研究A	14%（17%）
基盤研究B	36%（26%）
基盤研究C	33%（34%）
挑戦的研究（開拓）	12%（7%）
若手研究	47%（40%）

大学機関別認証評価の評価結果について

本学は令和3年度に大学機関別認証評価を受審し、評価機関である大学改革支援・学位授与機構から、大学評価基準に適合しているとの評価結果

を得ました。歯学部に関する指摘事項はありませんでした。

